

1. オオシマザクラ・バラ科



樹形：常緑高木

花：4月上旬

場所：NEXT21西南入口

原産地：関東南部・
伊豆諸島

特徴①NEXT21 景観賞 オオシマザクラ

NEXT21 が各種団体から受賞された景観賞の額が多数入口に掲示されています。満開のオオシマザクラが景

観賞にふさわしいと、両者の入った写真が撮れる季節を待っていました。

特徴②ソメイヨシノの親 ソメイヨシノは公園・住宅地・河川堤防など、日本で一番多く植えられており、サクラの代表品種とされていますが、自然界にはない園芸品種です。このソメイヨシノは江戸時代に、オオシマザクラとエドヒガンの交配により生まれた品種です。

特徴③桜餅はオオシマザクラの葉で 桜餅に使われているサクラの葉はオオシマザクラです。葉を柔らかいうちに摘み、塩漬けにしたもので、葉に含まれるクマリンという成分が、桜餅の香りのもととなっているそうです。

2. アケビの仲間・アケビ科

樹形：蔓性落葉木

花：4月

場所：屋上庭園・立体街路など

特徴①アケビと ミツバアケビ

関西地方の山野には2種のアケビ、葉が5枚のアケビと3枚のミツバアケビがあります。

NEXT21でも屋上庭園にアケビ、立体街路にミツバアケビがあり、両種とも花が咲いています。

花の色はアケビが淡紫色、ミツバアケビが濃紫色と幾分違いがあり、また、雄花・雌花はミツバアケビの写真からわかるように、同じ木に咲くものの、形が違います。



特徴②鄙びた味 食べられるものなら何でも欲しかった終戦直後の小学生の頃、熟したアケビの甘さは「ほっぺが落ちる」ほどで、鳥に撮られない先に食べた記憶があります。しかし、今食べると、種子の多いことだけが気になり、甘さ・うまさをあまり感じません。アケビ・ヤマボウシなど、私が子供の頃に甘く感じた木の実を食べた都会生まれの友人は、「鄙びた味」と形容しました。砂糖の甘さを知った現代人の舌には、自然界の甘さ・うまさのランクは低く、アケビは画材・生け花・蔓細工などの材料として珍重されています。

3. 屋上庭園で鳥との1時間

4月9日(月)午前、NEXT21 屋上庭園で野鳥観察を行いました。

NEXT21 周辺で生活している鳥が、何回も訪れ、また上空を通過することがわかりました。今回はトライアルでしたので、次回以降が楽しみです。



↑ キジバト

特徴① 観察頻度の多い鳥

屋上庭園を利用している鳥のベスト2はスズメとヒヨドリ、2～3分毎に、1回1～3羽で訪れています。1回に観察した最大数は3羽だったので、NEXT 21 の近くを生活拠点にしている鳥が複数羽いて、何回も来ているようです。

種名			回数	個体数
1	庭園内	スズメ	11	18
2		ヒヨドリ	6	9
3		キジバト	1	1
4		ツグミ	1	1
5	上空 通過	ドバト	4	4
6		ハシブトガラス	2	3
計			25	36

特徴② キジバト・ツグミ キジバトの観察は1回のみでしたが、写真のポーズでエノキに10分近く休んでいきました。また、今年少なかった冬鳥のツグミは、1回、しかも数秒でしたが、センダンにきました。ツグミは、人がいなければセンダンの実をゆっくり食べられたのに、と思っていたかもしれません。

特徴③ シジュウカラ・メジロ 当日は観察できなかったが、これまで NEXT21 周辺で何回も声を聞いているので、NEXT21 周辺で生活していることは間違いなく、次回が楽しみです。

4. 屋上庭園・実生さまざま

NEXT21 屋上庭園では、鳥が運んだ種子から生まれたばかりの幼木(実生)を多数生えています。

特徴①鳥による種子散布

NEXT21 屋上庭園には鳥が運んできた種子からの実生の幼木が多数あります。

幼木の育っている場所に親木がありませんので、NEXT21 内の他の

場所や、他の公園で液果を食べた鳥が、屋上庭園にきて種子を排泄したものです。

これら種子散布をした主役の鳥は、ヒヨドリ・ツグミ・ムクドリなどと推定されます。



特徴①コナラの実生

コナラの木の下に昨秋落ちたどんぐりからの芽生えを多数見ることができます。子葉になるどんぐりの果肉部分が、何故か真っ赤でした。近くには、1～2年前に芽生えたコナラの幼木が新葉を開き始めています。

